

4-(1)-⑱ 教育力向上の取り組みの概要

区分	機能
第1回 学内研修会	<p>平成 28 年 7 月 27 日 FD 研修会「FD カフェ ～授業をもっと楽しくしよう」</p> <p>学生と教員が一堂に会し、授業改善等の大学教育の質の向上について自由に話し合う機会を設けることで、学生の声を取入れた教育の場づくりを進める機会としました。</p> <p>参加教員:43 名、学生 10 名</p>
第2回 学内研修会	<p>平成 28 年 11 月 23 日 FD 研修会「学習意欲が高まる授業、学習意欲を高める工夫」</p> <p>授業アンケートを参考に、注目の授業担当者から事例や状況を報告してもらい、授業運営方法への理解を深め、振返りと平準化を図ることを目的に実施しました。</p> <p>参加教職員:34 名</p>
第3回 学内研修会	<p>平成 28 年 12 月 7 日 FD 研修会「FD カフェ ～やる気になる授業はどんな授業？」</p> <p>学生と教員が一堂に会し、授業改善等の大学教育の質の向上について自由に話し合う機会を設けることで、学生の声を取入れた授業、教育の場づくりを進めることを主眼に、第 2 回目を開催。学生の声をより多く聞くために学生参加を広く呼びかけ実施しました。</p> <p>参加教員:26 名、学生 30 名</p>
第4回 学内研修会	<p>平成 28 年 12 月 14 日 FD 研修会「授業科目の到達目標と評価基準」</p> <p>シラバスの重要項目である「科目の目的」に対する「到達目標」と、その「評価方法」「評価基準」を明確に示すことができるよう、具体事例説明とワークを通して、全学的な向上と平準化を図ります。</p> <p>参加教員:30 名</p>
第5回 学内研修会	<p>平成 29 年 2 月 27～28 日教育力向上プログラム</p> <p>“学生をアクティブラーナーに転換する”を目標に、授業時、学生が授業内容や学びに対して主体的に取り組む姿勢や行動、前向きに学習しようとする気持ちや意識を引き出すための、授業時の学生対応や授業運営での工夫、学生の記憶に残る授業構成へのヒントなどを、研修者が共に考えながら高めていく研修を実施しました。</p> <p>参加教員:16 名</p>

<p>授業改善アンケート</p>	<p>平成 28 年度 「授業改善アンケート」を実施 前期・後期開講した全科目について、受講学生による授業に対するアンケートを実施し、授業改善にむけて担当教員へのフィードバックと授業内容向上にむけた FD 活動への展開などに活用しました。</p>
<p>学修・生活アンケート</p>	<p>平成 28 年 12 月「学修・生活アンケート」を実施 本学生の学習への意欲、学生としての意識、生活状況等を把握し、教育内容や学習環境、学生生活の改善にむけアンケートを実施しました。 調査は、本学生専用の学内学修 WEB サイトの回答システムを活用し、全学生の 70%から 53 項目への回答を得て、改善活動に活かしています。</p>
<p>FDネットワークつばさ</p>	<p>東日本に所在する国公立大学で組織・連携する“FDネットワークつばさ”に参加し、授業改善、カリキュラム・教育制度改革などについて取り組んでいます。 5 月 学生の主体的な学び、大学教育と学生支援、IR:アンケートの分析と活用について協議し、本学の事業にフィードバックしました。 9 月 大学間連携 SD 研修として「大学職員の地域連携企画力の醸成」をテーマとした職員研修会に参加し、教育現場とどうかかわり、教育目標の達成に向けて、事務局としてどう支援していくか理解を深めました。 1 月 学生が自ら学びの目標を設定し活動した結果について発表し、多面的な視点から評価やより良くするための改善点などフィードバックを受け、今後の学習への視座を得る機会となりました。</p>
<p>教務事務の改善</p>	<p>8 月 宮城県地区私立大学教務事務研究協議会(15 大学・短大で組織)に参加し、カリキュラム・学生支援・関係法令改正対応などについて、教務事務を担当する職員が毎年定期的に研究、協議を重ねています。</p>